

大学の世界展開力強化事業（平成 28 年度採択）中間評価結果の総括

平成 31 年 3 月 6 日

大学の世界展開力強化事業プログラム委員会

本事業において平成 28 年度に採択した 25 事業の平成 29 年度までの取組状況等について、中間評価を実施した。結果は、S（「優れた取組状況であり、事業目的の達成が見込まれる」）が 4 件（全体の 16%）、A（「これまでの取り組みを継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される」）が 15 件（同 60%）、A⁻（「これまでの取り組みを一部改善することによって、事業目的を達成することが可能と判断される」）が 2 件（同 8%）、B（「当初目的を達成するには、助言等を考慮し、より一層の改善と努力が必要と判断される」）が 3 件（同 12%）及び C（「これまでの取組状況等に鑑み、目標の達成が困難な取組があると考えられ、成果を見込めない取組については縮小・廃止し、財政支援規模の縮小が妥当と判断される」）が 1 件（同 4%）となった。なお、本評価においては A が標準的な評定である。

今回中間評価の対象となった事業は、平成 23 年度に開始したキャンパス・アジアパイロットプログラムによる実績を基にさらに高度化した取組みや先進的な教育プログラムである 8 件と、新たなキャンパス・アジアプログラムである 9 件の計 17 件による新規・継続事業であり、それぞれはキャンパス・アジアの基本的な枠組みに沿った目的に向かって取り組んでいる。

また、近年の経済成長と政治改革を背景に、持続可能な発展を支える高度人材の育成が求められているカンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナムの 4 か国を主たる交流先相手国とする事業 8 件も、「ASEAN+3 学生交流のためのガイドライン」等に基づく取組みを順調に実施している。

今回の評価により得られた主な取組内容は、以下のとおりである。

- キャンパス・アジアパイロットプログラムでの取組みの成果を踏まえ、単位取得を伴う交換留学やダブル・ディグリー・プログラムが順調に行われているなど、日中韓の強い連携が成されている。また、これらの実績を踏まえたジョイント・ディグリー・プログラムの構築に向けた活動が窺える。
- 交流先相手国大学との強固な連携によって、国際シンポジウムや短期プログラム、ダブル・ディグリー・プログラム等が活発に行われ、多彩なプログラムにより学生や産業界からの多様なニーズに対応している。
- 3 か国間や各大学間の制度上の違いを乗り越え、共通のカリキュラムや科目を設定し、質保証を伴う交流プログラムを開発・実施するための体制が構築されていることや、派遣学生や受入外国人学生のため、英語に加え 3 か国の言語に対応する専門スタッフの雇用や支援体制の構築をはじめとする環境整備に努めている。また、学生等の安全確保に向けた体制を構築するなど、充実した取組みが行われている。
- カンボジア、ラオス、ミャンマー及びベトナムとの間で、教育の質保証を意識しながらそれぞれの大学の特性や特色を十分に活かしたプログラムを展開し、学生交流についても短期から長期、学部から大学院レベルに至るまで、活発な活動に努めている。

今後の事業期間では、目標達成に向けて引き続き努力するとともに、補助期間終了後の自立的な展開を見据えて、事業継続のための環境整備や本事業実施のために雇用された教職員の処遇などを検討し、対応していくことが不可欠である。また、事業目的の達成に向けた見直しや改善に努め、適切かつ効果的に事業を推進していくことが望まれる。さらに、厳しい評価となった事業においては、評価結果に付された当委員会からの意見や指摘の内容を踏まえ、事業計画の見直しや縮小、更なる事業の改善・発展に向けて十分な対応が求められる。

各事業における優れた取組が、今後のアジアにおける高等教育圏形成のための礎となるよう、質保証を伴う国際教育連携の先導的モデルとして、取組を着実に実施していくことが強く期待される。

大学の世界展開力強化事業（平成28年度採択）中間評価結果一覧

整理番号	大学名	設置	事業名	総括評価
A-①-1	東京大学	国立	北京-ソウル-東京（BESETO）ダブル・ディグリー・プログラム：国際・公共政策共同研究	A
A-①-2	東京工業大学	国立	日中韓先進科学技術大学教育環高度化プログラム	A
A-①-3	一橋大学	国立	アジア・ビジネスリーダー・プログラムⅡ（アドバンスト）	B
A-①-4	名古屋大学	国立	東アジア「ユス・コム・ネ」（共通法）形成にむけた法的・政治的認識共同体の人材育成	A-
A-①-5	神戸大学	国立	東アジアにおけるリスク・マネジメント専門家養成プログラム	A-
A-①-6	岡山大学	国立	東アジア高等教育圏を見据えた中核的高度実践人＝アジアクラット育成プログラム	A
A-①-7	九州大学	国立	エネルギー環境理工学グローバル人材育成のための大学院協働教育プログラム - ダブルディグリープログラムの高度化と定着・恒常化 -	S
A-①-8	立命館大学	私立	東アジア人文学リーダー養成のための、日中韓共同運営移動キャンパス	S
A-②-1	千葉大学	国立	植物環境イノベーション・プログラム	A
A-②-2	東京大学	国立	日中韓教養教育アライアンスによる高度教養教育の充実と「協創型人材」の育成	A
A-②-3	東京学芸大学	国立	東アジア教員養成国際大学院プログラム	A
A-②-4	東京藝術大学	国立	国際アニメーションコース創設に向けた日中韓Co-workカリキュラム	A
A-②-5	東京海洋大学	国立	「日中韓版エラスムス」を基礎とした海洋における国際協働教育プログラム	S
A-②-6	大阪大学	国立	世界的健康問題の解決に向けた医学研究グローバルリーダー育成プログラム	A
A-②-7	九州大学	国立	アジア都市・建築環境の発展的持続化を牽引する人材育成のための協働教育プログラム	A
A-②-8	長崎大学	国立	日中韓の大学間連携によるインフラストラクチャーを支える人材育成事業	B
A-②-9	早稲田大学	私立	多層的紛争解決・社会変革のためのグローバルリーダー共同育成プログラム	C
B-1	東京外国語大学	国立	日本発信力強化に貢献するミャンマー・ラオス・カンボジア知日人材養成プログラム	A
B-2	東京藝術大学	国立	日ASEAN芸術文化交流が導く多角的プロモーション～協働社会実践を通じた心のインフラと質保証フレームの構築～	A
B-3	新潟大学	国立	メコン諸国と連携した地域協働・ドミトリー型融合教育による理工系人材育成	A
B-4	名古屋大学	国立	ASEANと日本を繋ぐ「グローバル・ソフトインフラ基礎人材」育成プログラム	A
B-5	○京都大学、関西大学	国立	気候変動下でのレジリエントな社会発展を担う国際インフラ人材育成プログラム	S
B-6	○広島大学、広島経済大学	国立	CLMV諸国の持続可能な平和、幸福、発展に貢献する研究力と社会起業力の融合人材育成	B
B-7	慶應義塾大学	私立	LL.M.を用いたメコン地域諸国大学との協働によるアジア発グローバル法務人材養成プログラム(PAGLEP)の形成	A
B-8	明治大学	私立	CLMVの持続可能な都市社会を支える共創的教育システムの創造	A

(参考) 総括評価

評価	評 語
S	優れた取組状況であり、事業目的の達成が見込まれる。
A ※	これまでの取組を継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
B	当初目的を達成するには、助言等を考慮し、より一層の改善と努力が必要と判断される。
C	これまでの取組状況等に鑑み、目的の達成が困難な取組があると考えられ、成果を見込めない取組については縮小・廃止し、財政支援規模の縮小が妥当と判断される。
D	これまでの取組状況等に鑑み、事業目的の達成は著しく困難と考えられ、財政支援の中止が妥当と判断される。

※ A評価のうち、取組状況や目標の達成状況について、評価の段階では一部改善を要するものの、これまでの取組を継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断されるものについてはA-とすることができる。